

# 地域住民との連携による農空間保全

おおぎ

大木農空間保全協議会（泉佐野市）

- 本地区は、市の山間部に位置し、水資源に恵まれた自然豊かな米作地域であるが、高齢化の進行と鳥獣被害の増加により、耕作放棄田が増え、良好な農村景観が失われつつあった。
- 平成29年度に大木農空間保全協議会を設立し、地域住民及び地区内小学校が連携した地域資源の保全管理に取り組んでいる。

## 【地区概要】

取組面積	18ha	[田 18ha	畑0.00ha]	
農業用施設	開水路16.7km	パイプライン0km	農道 3.6km	ため池 10箇所
主な構成員	土地改良区、町会、小学校			
交付金	540千円			

### 活動開始前の状況や課題

- 市の山間部に位置していることから鳥獣被害が多発しており、耕作放棄地の拡大が懸念されている。
- 各地区の水利役員が中心となって、水路等の農業施設の維持管理を行っているが、後継者不足・担い手の減少による高齢化が進んでいる。



### 取組内容

- 町会・小学校と連携し、耕作放棄地を活用した農作物（さつまいも・大根）の収穫体験を実施
- 地域ぐるみで水路の草刈りや浚渫を実施し、施設の維持管理、長寿命化に取り組んでいる。



### 取組の効果

- 小学生及びその家族を対象とし、耕作放棄地を活用した農作物の収穫体験を実施することで、良好な景観を維持することができ、農業理解を示せた。
- 土地改良区が中心となって施設の点検を実施し、地域ぐるみで活動を行うことで地域住民の理解促進、交流する機会の創出に寄与している。

